

令和5年度北九州市職員採用試験の変更点について

令和5年度より、以下のとおり採用試験制度を変更します。

1 【先行枠】土木区分の新設、【秋季枠】の常設

- 4月実施の上級採用試験【先行枠】に一般技術員 **土木Ⅰ（専門面接）** を新設します。
 - 民間企業等の採用試験で広く使用されている「SPI3」及び「専門性確認シート」による面接により、民間企業等を志望していた理系学生等の受験しやすさを高めます。
 - 6月実施の【通常枠】や9月実施の【秋季枠】の土木区分との複数回受験も可能です。（詳しくは、下記5※をご参照ください。）
- 9月実施の上級採用試験【秋季枠】を常設し、上級・一般事務員 **行政Ⅰ（プレゼン）**、上級・一般技術員 **土木Ⅰ（専門択一）**、**土木Ⅱ【経験枠】** を実施します。
 - 海外への留学や研究活動、部活動等により一般的な時期の就職活動を行うことが困難だった学生や、UIJターンを含む転職を考える社会人等を対象に、受験機会の拡大及び土木職の人材確保を目的として、【秋季枠】を常設します。
 - 【秋季枠】の常設により、【先行枠】と合わせて、上級・一般事務員（行政）及び上級・一般技術員（土木）の受験機会が年3回に拡大します。

2 社会人向け試験の拡充！

- 6月実施の上級等採用試験で、**行政Ⅱ【経験枠】** を8年ぶりに再開します。
 - 民間企業等の採用試験で広く使用されている「SPI3」及び「経験小論文」により、UIJターンを含む転職を考える社会人等の受験しやすさを高めます。
- 6月実施の上級等採用試験で、**行政（就職氷河期支援）**、**社会福祉Ⅱ【経験枠】**、**獣医師Ⅱ【経験枠】** を、昨年度に引き続き実施します。

3 受験者負担の軽減（採用試験日程の短縮化、来場回数の軽減）

- 4月実施の上級採用試験【先行枠】の面接回数を3回から2回に変更し、最終合格発表を7月中旬から6月下旬に3週間前倒します。
- 6月実施の上級等採用試験及び9月実施の初級等採用試験の第2次筆記試験を第1次筆記試験日に併せて実施することで、受験者の試験会場への来場回数を減らし、試験日程を5～10日間程度短縮します。
- 保育士区分の第2次筆記試験時に課していた体力検査（握力・背筋力）を廃止し、受験負担を軽減します。

4 受験しやすさの向上（SPI3の導入拡大）

- 獣医師及び作業療法士区分に、教養試験に替えて民間企業等の採用試験で広く使用されている「SPI3」を導入し、転職者等の受験しやすさを高めます。

5 上級等採用試験の各試験区分の実施予定時期について

【主な試験区分】

		試験区分	実施予定時期	
上級・一般事務員	行政Ⅰ	(専門択一)	6月【通常枠】	
		(小論文)		
		(プレゼン)	4月【先行枠】 9月【秋季枠】	
	行政Ⅱ【経験枠】	行政(就職氷河期支援)	6月【通常枠】	
		デジタル【経験枠】		
		社会福祉Ⅰ		
		社会福祉Ⅱ【経験枠】		
心理				
上級・一般技術員	土木Ⅰ	(専門択一)	6月【通常枠】 9月【秋季枠】	
		(専門面接)	4月【先行枠】	
		土木Ⅱ【経験枠】	6月【通常枠】 9月【秋季枠】	
	建築Ⅰ	6月【通常枠】		
	建築Ⅱ【経験枠】			
	電気Ⅰ			
	電気Ⅱ【経験枠】			
	機械Ⅰ			
	機械Ⅱ【経験枠】			
	農学Ⅰ		(造園)	
			(農業)	
			(林業)	
	農学Ⅱ(造園)【経験枠】		6月【通常枠】	
	環境Ⅰ			(化学)
				(生物)
	環境Ⅱ【経験枠】			(化学)
				(生物)
	衛生	(農芸化学)		
		(薬学)		
		(水産)		
(畜産)				
免許職	獣医師Ⅰ			
	獣医師Ⅱ【経験枠】			
	保健師			

※「土木」区分のみ他の「土木」区分との複数回受験を一部認めます。

- ①【先行枠】土木Ⅰ(専門面接) ⇔ 【通常枠】の土木Ⅰ(専門択一) 又は土木Ⅱ
- ②【先行枠】土木Ⅰ(専門面接) ⇔ 【秋季枠】の土木Ⅰ(専門択一) 又は土木Ⅱ

※令和5年度に実施する「試験区分」及び「実施時期」は変更になる可能性がありますので、
詳細は、本市職員募集ホームページにて、今後公表する試験案内等をご覧ください。